

役員		平成5年度北信越支部三役・理事名簿 (平成5年5月31日時点)	
支部長	梅村晃由	長岡技術科学大学機械系教授	
副支部長	高瀬信忠	金沢大学工学部教授	
	村尾勝年	富山大学理学部教授	
幹事長	遠藤八十一	農林水産省森林総合研究所 十日町試験地主任研究官	
理事			
阿部 勉	関越ロードメンテナンス(株) 専務取締役	中村 勉	防災科学技術研究所 長岡雪氷防災実験研究所長
遠藤治郎	新潟大学農学部教授	早川典生	長岡技術科学大学建設系教授
河田脩二	金沢大学理学部教授	眞岩俊雄	富山県企画県民部水雪対策室長
鴻巣俊彦	新潟県企画調整部雪対策室長	町田 誠	町田建設(株)社長
小林 詢	信州大学教育学部教授	松本恒和	JR東日本新潟支社工務部長
杉森正義	福井県雪対策技術センター次長	山口 肇	長岡工業高等専門学校教授
須田公男	佐藤工業(株)北陸支店次長	若井武夫	北陸電力(株)技術研究所副所長
関 清二	東北電力(株)新潟支店送配電部長	和田 惇	(社)北陸建設経済会専務理事
高見晋一	農林水産省北陸農業試験場 気象資源研究室長	監 事	
網木亮介	建設省土木研究所新潟試験所長	村山 實	新潟産業大学教授
		湯本喜久雄	ソーラーシステム(株)社長

報告		平成5年度第2回理事・幹事合同会議報告	
<p>平成5年7月8日(木)15時40分より、長岡技術科学大学機械系会議室において、本年度第2回理事・幹事合同会議が開催された。梅村支部長の挨拶に始まり、前回の理事・幹事合同会議議事録の確認と平成5年度支部総会議事報告が行われた。つづいて、平成5年度支部顧問・評議員(案)の議決が行われ承認された。次に平成5年度支部活動について審議され、平成5年度支部活動役割分担(案)が承認された。特に長野地区の学習会については、冬季オリンピックとの関連もあり、実施する方向で検討することとなった。支部賞の賞状、及び記念品に関して、梅村支部長から案が提出され、審議の結果、大沼顧問からの寄付金およびIGS長岡シンポジウムの残余金を基金とする特別会計によりこれらの費用に充てることが承認された。雪氷学会会員名簿および学会誌への広告掲載の協力について遠藤幹事長(支部広報担当委員)から紹介され、会議出席の各理事・幹事に協力要請が行われた。早川理事から「1992年国際雪氷学シンポジウム開催報告書」および「長岡の積雪」英語版が紹介されるとともに、同理事および上村会計幹事から「長岡国際シンポジウム論文集」200部(1部4000円)、「屋根雪処理技術部会報告書」50部(1部2000円)が支部の財産として保管されていることが紹介された。最後に役員自己紹介が行われた。</p>			

「黒部川、下新川海岸」見学会

日 時：平成5年8月4日（水）

日 程：建設省黒部工事事務所 ^{バス} 愛本（扇状地見学）^{バス} 宇奈月ダム
（10：00出発）

（昼食） ^{バス} 宇奈月温泉 ^{バス} 墓の木・中の口緑地公園 ^{バス} あさひ城

山より下新川海岸全景 ^{バス} あさひ海岸なぎさリフレッシュ事業 ^{バス}

^{バス} 吉原侵食海岸 ^{バス} 生地海岸、共同洗場 ^{バス} 建設省黒部工事事務所
（新型離岸堤工事）（16：30着）

集合・解散：建設省黒部工事事務所 9：50 ・ 16：30

定 員：16名（世話役の対馬，高瀬を除く）（先着順）

参加費：無料（宇奈月ダムの現地で昼食の予定ですが、お茶は支給されますけれども、昼食の弁当等は各自で御持参下さい。なお、宇奈月温泉には食堂はありますが、昼食時には混雑するものと思われるので御注意願います。）

その他：（1）雨天の場合、見学コースの変更、短縮の可能性等があります。なお、保安帽は借用できますので、服装は普通通りで結構ですが、雨具等は各自で御準備願います。
（2）JR黒部駅（北陸本線）から建設省黒部工事事務所まで徒歩約5分位ですが、同駅までの往復の交通費は、各自で負担して下さい。なお、車の場合は、同事務所の構内には、駐車のスぺースは十分にあります。

申し込み：〒930 富山市五福3190 （TEL. 0764-41-1271）
富山大学理学部 対馬勝年
または、

〒920 金沢市小立野2-40-20 （TEL. 0762-61-2101）
金沢大学工学部 高瀬信忠

あてに、「氏名、年齢、現住所、勤務先」を御記入の上、葉書でお申し込み下さい（7月26日〔月〕必着締切り）。なお、氏名、年齢等これらの事項は保険手続き上必要ですので、どうぞよろしくお願い致します。
建設省黒部工事事務所の御厚意と御案内でマイクロバスをお借りして見学しますが、案内パンフレット等は当日配布される予定です。

講演会

雪氷フォーラムの報告

平成5年度の講演会が下記の要領で開催された。今回は初の試みとして、講習会に現地検討会を加え1泊2日の日程で、関東以西支部と合同で実施した。参加費1万円のため、どれだけ参加があるか心配したが、予想を上回る33名の参加者（北信越22名、関東以西10名、その他1名）を得た。1日目の講演会とその後の懇親会では、講師を囲んで熱心な討論と情報交換が夜遅くまで続いた。2日目の現地検討会は生憎の雨模様となったが、種々の最新の雪崩対策工や雪崩斜面に刻まれた特異なU字型地形、筋状地形を前に丁寧な説明を受け、活発な検討が行なわれた。雪国の地形の特徴や雪や水の営力、雪崩の破壊力等の理解を深める上で有意義な2日間であった。なお、講演会の要旨は雑誌「雪氷」に報告される予定である。ご協力いただいた関係機関・各位に感謝いたします。（速原記）

日時：平成5年7月2日（金）～3日（土）

場所：新潟県能生町自然教育センター「権現荘」（榑口温泉）

テーマ：「大地を削る氷と雪—新潟県能生町権現岳の麓で考える—」

日程：2日（金）14:30～18:00「講演会」

「氷河がつくる地形」

安仁屋政武（筑波大学）

「雪食作用と地形—北欧と日本の比較」

下川和夫（札幌大学）

「低・中山地における雪崩地形」

関口辰夫（国土地理院）

・「頸城地方の陸と海における流れのつくる地形」

津田禾粒（元新潟大学長）

「昭和61年榑口雪崩災害の概要」

望月幸雄（糸魚川林業事務所）

3日（土）9:00～12:00「現地検討会」

権現岳雪崩発生斜面、雪崩対策工（誘導工、減勢工、阻止工）

榑口地滑り地の見学及び検討

主催：日本雪氷学会北信越支部、関東以西支部

協力：新潟県西頸城郡能生町

学習会

福井地区平成5年度第1回学習会

下記の通り開催しますのでご参加いただけるようご案内します。

期日 平成5年7月23日（金）13:30～

場所 福井市春日3丁目303

福井県雪対策技術センター

TEL. 0776-35-2412

内容 1. 凍結防止&予瀾システムの最近の現場の話題

山田技研 山田忠幸氏

2. スプリングラー融雪についての最近の話題

雪対策技術センター 宮本重信氏

連絡先：福井県雪対策技術センター 杉森正義

新刊ニュース

『改訂 雪崩とその対策』 雪崩対策研究会 編著
昭和61年に発行された同名の書を今回全面改訂したもので、その後の調査研究の成果や新しい施策への取り組みを紹介したものである。
(財団法人 経済調査会 3,500円)

『北海道の自然 雪を知る』 柏原辰吉 著
札幌管区気象台から日本気象協会へと、長く北海道の雪と関わった著者が、北海道の雪の特徴や気候変動などについて述べた書。
(北海道新聞社 1,400円)

『雪女 一高橋喜平エッセイ集一』 高橋喜平 著
「花の章」「月の章」「雪の章」から成る合計36編の作品を収めた著者最新のエッセイ集。
(岩手日報社 1,200円)

その他

『ニュースレター雪氷北信越』の事務局が変わりました！

日本雪氷学会北信越支部では、支部会員への事業の案内や報告のために、毎奇数月10日前後に、ニュースレターを発行いたします。原稿を下記の書式(できるだけワープロ原稿)で毎奇数月5日までに事務局にお送り下さい。

※書式 A4
左右マージン：25mm(幅約160mm)
1行文字数：約32文字(字間約2.5mm)
行間：約5.5mm
行数：制限は設けないができるだけ手短に

ニュースレターに関するお問い合わせ先が変わりました。

長岡雪氷防災実験研究所 小林俊市 TEL.0258-35-7522
FAX.0258-35-0020

までお願いいたします。

販売書籍のご案内

雪氷辞典

会員特価2300円
(定価2600円)

雪崩予知予防長岡国際

シンポジウム論文集

定価4000円

屋根雪荷重と
融雪技術の評価

定価2000円

お申込は下記へ

〒940-21 長岡市上宮岡町1603-1
長岡技科大 機械系 上村 靖司
TEL 0258(46)8000 FAX 0258(46)6972

雪氷北信越のバックナンバーも1部1000円にて販売しています